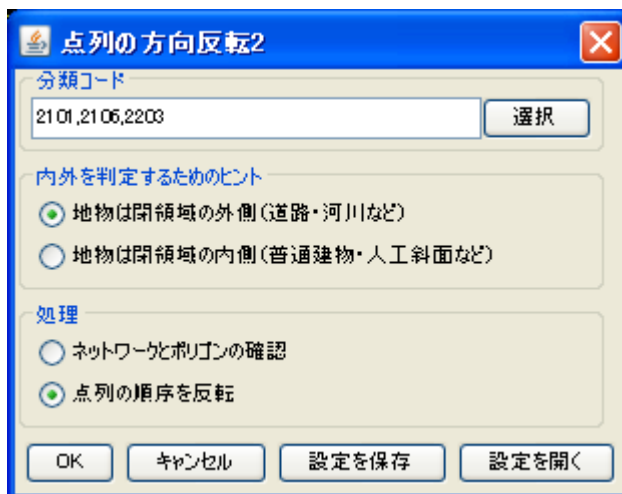
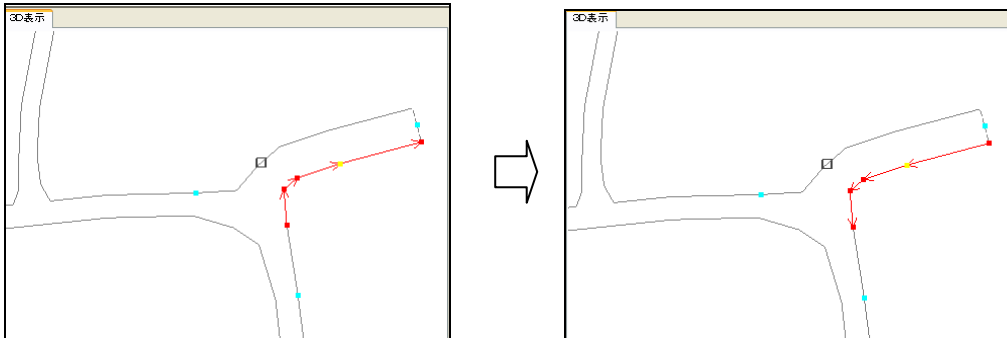


1. 点列の方向反転 2

新メニュー[一括処理]-[点列の方向反転 2]を追加しました。

真幅道路や普通建物など、ポリゴンを構成できる面(E1)と線(E2)について、地物が右側になるように、頂点列の順序を反転します。



分類コード

対象となる面(E1)と線(E2)の分類コードを指定します。複数の分類コードを指定する場合、カンマ「,」で区切ります。また、「選択」ボタンで開いている DM の分類コードのリストからも指定できます。



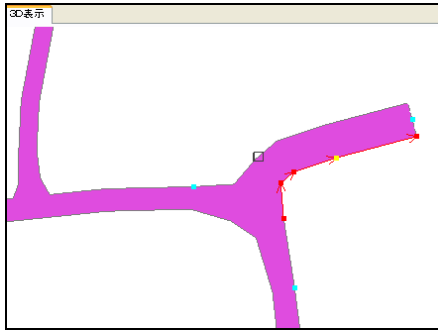
庭園路や道路橋など、要素数が少なく、それだけでは閉領域が構成できない地物は、真幅道路などと一緒に処理してください。

内外を判定するためのヒント

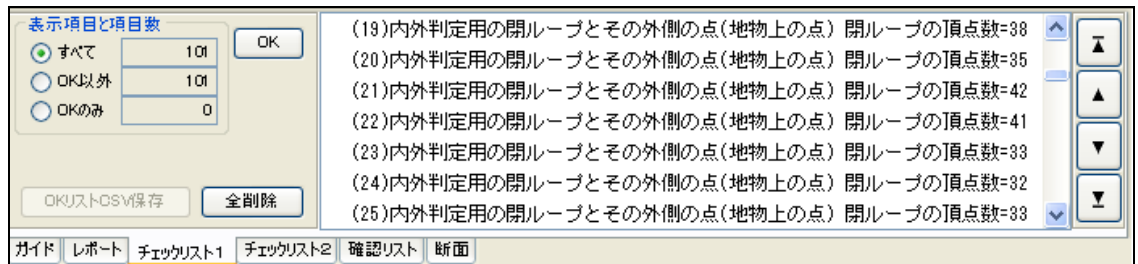
真幅道路のように線(E2)が閉じていない場合でも、ポリゴンを作成するため、地物のタイプを指定します。真幅道路のように、線(E2)のネットワークで、閉領域になっている部分が街区など道路の外側になる場合「地物は閉領域の外側」を指定します。普通建物のように単体で閉じている地物については「地物は閉領域の内側」を指定します。

ネットワークとポリゴンの確認

指定された分類コードから、プログラム内部でネットワークを作成し、地物の内側に TIN を作成・表示します。



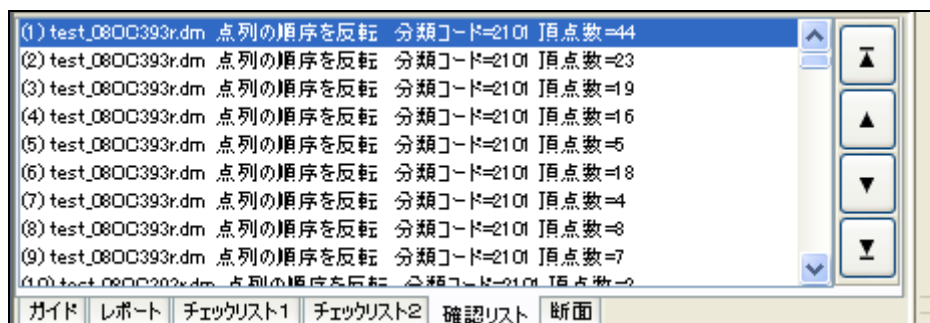
真幅道路などの線が交差ししたりしている場合、TIN の形状がおかしくなり、線(E2)の修正等が必要になります。TIN が地物の内側に収まっていれば、準備 OK です。



「地物は閉領域の外」の場合、チェックリストには、道路にかこまれた街区などのポリゴンをリストアップします。

点列の順序を反転

面(E1)と線(E2)の点列について、TIN が右側にあれば、反転しません。TIN が左側にあれば、点列の順序を反転し、確認リストにリストアップします。



以下のような処理を行います。

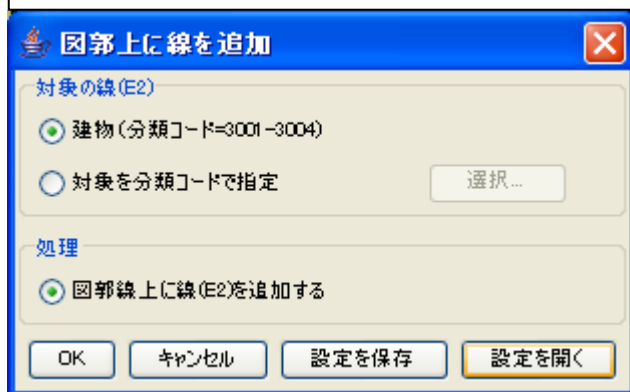
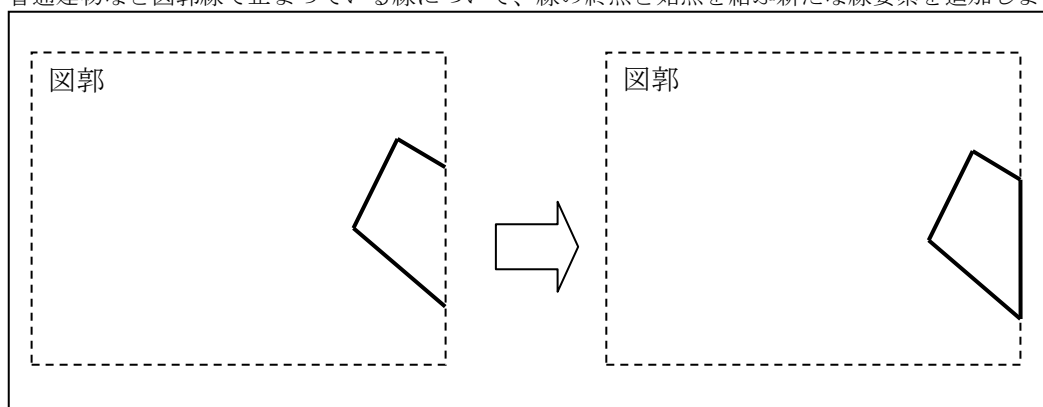
- ① 指定された分類コードの面(E1)と線(E2)でネットワークを作成
- ② ネットワークのうち、ポリゴンになっている部分に注目し、ポリゴンの内側あるいは外側に TIN を発生・表示。ネットワークにポリゴンができない場合は処理を中断します。

- ③ 面(E1)と線(E2)の点列について、TIN が左側にあれば、順序を反転

2. 図郭線上に線を追加

新メニュー[一括処理]-[図郭線上に線を追加]を追加しました。

普通建物など図郭線で止まっている線について、線の終点と始点を結ぶ新たな線要素を追加します。



建物（分類コード=3001-3004）

分類コードが 3001 から 3004 までの面(E1)と線(E2)を対象とします。

対象を分類コードで指定

処理する要素の分類コードを指定します。

図郭線上に線(E2)を追加する

現在、サポートしている機能はこれだけです。

開いている各 DM データ別に、指定された分類コード別に以下の処理を行います。

- ① 面(E1)と線(E2)からネットワークを構成します。
- ② ネットワークの各ポリラインについて、両端点が図郭線上になれば終了
- ③ 両端点（終点から始点へ）を結ぶ線を図郭線上に作成します。図郭の角の場合、頂点数が 3 の線になります。分類コードは同じ、図形区分と間断区分は 0、取得年月など他の情報は元の要素を参照します。

- (1) test1.dm 図郭上に線を追加 分類コード=3001 頂点数=2
- (2) test1.dm 図郭上に線を追加 分類コード=3001 頂点数=2
- (3) test1.dm 図郭上に線を追加 分類コード=3001 頂点数=2
- (4) test1.dm 図郭上に線を追加 分類コード=3001 頂点数=3

ガイド レポート チェックリスト1 チェックリスト2 確認リスト 地形断面図作成支援 断面